

西南学院大学ラグビー部OB会 2022年度第2回幹事会 議事録

作成：古屋

■日時 2022年4月26日（火） 19:05～20:40

■場所 西南学院百年館（松緑館） 2F セミナー室 （福岡市早良区西新3丁目）

■出席者（敬称略）74期：渡辺 77期：前田 86期：古屋 90期：塚 91期：久保 93期：黒木
94期：大曲 94期：吉武 94期：澤田 95期：大定 95期：川原田 計11名

■内容

1. OB会の諸課題及び活動に関する事項

【審議事項】

(1) OB会費等の納入状況と今後の取り組み 【黒木会計担当／古屋副会長兼幹事長】

①現状の入金状況 4月20日現在

年会費：33名	165,000円（進捗率19.4%）	※予算	850,000円（170名）
強化費：23名	120,000円（進捗率15.0%）	※予算	800,000円（160名）

②今後の取り組み

- ・過去3年に比べる出足としては不調。昨年同様に総会時に集めることができなかったとはいえ、昨年に比べ10名以上の減となっている。現段階で評価は難しいが、今後の入金状況等注視しながら必要な施策を検討及び準備する必要がある。
- ・00期以降の課題は継続して存在するが、100周年に向けた取り組みもあるので、しっかり名簿整備に取り組む必要がある。
→会報のメール発信および郵送時に、住所等の変更があれば知らせてほしい旨呼びかけを行っているものの反応が悪いのが現状である。引き続き卒業生の連絡先等の把握から名簿整備を図っていくので、役員・幹事の協力をお願いしたい。（渡辺事務局長）

⇒了承

(2) 創部100周年記念に向けた取り組みについて 【古屋副会長兼幹事長】

先日、一部の役員と久保さん（91期）とで創部100周年記念に向けての意見交換を行った。

まずは、本日の幹事会で久保さんより100周年記念に向けた取り組み等の提案を頂くこととしたい。

●創部100周年記念に向けた提案

【91期：久保幹事】

- ・100周年の2028年まであと6年だが、日大も同年で創部100周年を迎え、既に体制を構築し準備を開始しているとのこと。また、近々に100周年を迎える福岡高校や修猷館高校も運営体制を構築し準備をすすめている。100周年と言うのは非常に重要な節目と思うので、西南ラグビーとしても準備をしっかり整えて臨む必要があると考える。
- ・については、100周年をOB／OG／現役と祝うとともに、地域への感謝、次の100年に向けた文化を示したい、と考える。

- ・そこで、100周年は、①100周年に向けた現役支援、②100周年後も続く現場強化、③大学・地域も思い出に残るイベント開催 を3本の柱として取り組むことを提案したい。
- ・具体的取り組み案は枝葉の部分となるが、提案資料記載のとおり
 - ①現役へのサポートの充実
 - ②優秀な人材確保のための高校指導者訪問等リクルート活動
 - ③ラグビー教室の開催及び指導者からの講演

【86期：古屋副会長兼幹事長】

- ・創部100年と言うのはこれまでの区切りの年次より非常に重たいものがある。90周年記念の準備は3年前より開始したが、100周年となると更に早くから取り組む必要があると考える。避けては通れない道なので、やるからには体制等を整え、できることから今後準備をすすめていきたい。資金集めが課題となるが、知恵をだしてその方策も今後考えていきたい。
- ・事前に久保さんからの意見等を受けて、幹事会で議論するための素案を私なりに考えたので提案したい。
- ・まずは、創部100周年の目的としては次のとおり
 - 1) サステナブルなチーム運営と次世代にむけた西南ラグビーのプレゼンス向上
 - 2) 現役学生とOB会の更なる結束と交流

【意見交換】

- ・100周年記念時に実施するイベント等の内容は一旦おいといて、100周年に向けて95周年時に少しでも何か取り組む事項がないか考えたい。(古屋)
- 100周年に向けては資金集めも重要であるが、OB・OGや現役の機運を盛り上げるためにも、95周年時から100周年Tシャツを作成し、イベント毎に全員そろいのTシャツを着用し参加するとか、95周年から取り組むことが必要であると思う。(久保)
- ・西南ラグビー関係者だけでなく、現役家族やOB知人等にもTシャツ販売に協力してもらうことなど、95周年記念を機会に何らかの形にして取り組むことはいかがだろうか？(古屋)
- いいと思う。95周年を1回それなりの形にして、その後100周年まで毎年スモール的に1回やっていくことは可能ではないだろうか(澤田)
- 田尻のグラウンドを活用し、家族で楽しめるフェスティバルもありかもしれない。(吉武)
- 随分前は、OBと現役のゲームを実施していた。(澤田)
- ・今なら、若手OB対現役のゲーム、もしくは若手OBが加わりA-Bマッチができるだけの部員数はいると思う。その際は、若手OBを集めることはできると思う。(古屋)
- この場合、実施時期の検討も重要になってくる。(大曲)
- ・95周年記念を実施することは概ね共通認識できたようだが、95周年までは1年しかない。この1年で何ができるかを併せて考えた時に、実施可能な案として、①スクール対象のラグビー教室もしくは高校生対象のラグビーフェスティバル、②その指導者の講演会もしくは座談会と考える。記念グッズの作成は、先ほどのTシャツ案を第一案として検討をすすめてはどうか？(古屋)
- ・①スクール対象のラグビー教室は指導者確保の課題がある。高校生を対象にラグビーフェスティバルと称し4~5校集めてゲームを実施する方が現実的と考える。西南高校を基本に、西南より少し強豪となる筑紫丘高校等に声をかける。4校30分総当たりのゲームを想定すると3時間を要するので、4校がベターであり、まずはそこから始めてみてはどうか？(古屋)
- ・そして、講演できそうな元ジャパン等のキーマンを一人呼んで、ゲーム後に高校生向けに講演会または座談会を実施する。そんなイベントであれば実施可能ではないか？(古屋)
- ・ただし、若干の費用が発生するので、どこの財布から支出？となる。95周年記念1回分だけであれば、90周年記念で得た利益で賄うことは可能であるとする。(古屋)

- 費用がどの程度要するか不明だが、例えば、定期的に福岡に来て高校生を指導している富岡鉄平さんとか、更にそこから繋がって指導に来られている指導者の方達がいる。そんな方々にお願ひできたら少し費用が抑えることができるかもしれない。そのような方は高校生の指導が非常に上手である。言葉の掛け方一つをとっても、心に響く言葉を掛けられる。(久保)
- ・費用は95周年の実績から指導・講演+交通費(東京想定)含めで約30万円、高校生に対するグッズ提供に約20万円の計50万円程度必要になると想定する。いずれにしても、100周年に向けて95周年記念のイベントを行うことでよいか?(古屋)
- 95周年というのと100周年は毛並みが違う。95周年までは1年しかないが、皆さんの意識としては、100周年の決意をもって95周年は何かやったかがいいよね。と理解する。であれば、まずは95周年に何をするのか早く決める必要がある。この場で何をするというのを決めるのは難しいかもしれないので、後日、メール等で吸い上げてよい。(前田)
- 講演会をやるにしても、また、高校生集めてやるか、ラグビー教室をやるかにしても、実施する内容を早く決めて準備に向かわないと1年では難しい。OB・OGに対しては100周年を迎えることを意識させるためにも95周年イベントを取り組むことが重要。とは言え、95周年にインパクトのある内容を行うことは難しい。個人的には、スクールを集めてラグビー教室をやって、それに現役も運営に絡んでもらう。それによりグラウンド開放に繋がるのではないかと。(渡辺)
- OBへの内向けの発信と、地域等に向けた外向けの発信がある。OBの気持ちを振り向かせるためにも100周年に向けて95周年イベントに取り組む。外向けの発信においては、大学に向けて発信するようなこともある。広く社会に向けて発信するためにはなるが、まずは内と外と一つずつ決めていくのが重要である。大学にはこれまでも散々グラウンド開放に向け取り組んできたが簡単にはいかない。時間をかけて地域貢献のためにも大学に対して今後も働きかけを継続するが、対応にあたっては作戦を考える必要がある。今の段階でOB会として速やかに取り組む必要があるのは、高校に向けて動くことである。この2年コロナ禍もあり部員数が増えていない。高校訪問活動にあたっては、100周年告知がとっかかりとなる。(前田)
- スクールへのグラウンド開放は難しい状況か?(澤田)
- 地域のスクール(伊都ヤングラガーズ)は使用しているようである。(大曲)
- 大学に対して、考え方の確認をする作業は必要。適切なチームを選んで交渉に行くことになるかもしれない。確認作業は今年同時進行で動く必要がある。(前田)
- 高校訪問活動時にフェスティバルの招待もできるのではないかと。(渡辺)
- ・チーム数を制限しないといけないし、西南高校は必須なので招待して手が挙がりすぎると収拾できなくなる。よって、西南高校を基本に強さのレベルを考えて選定する必要がある。(古屋)
- 高校を呼ぶとなると実施時期の課題がある。(大曲)
- 試験や大会があつて、春休みの3月末頃が適当な時期と思う。(川原田)
- ・95周年時に何かをやるとしたら、1年で動けるのは講演会をセットとした4~5校の高校ラグビーフェスティバルであるとする。(古屋)
- 久保さん提案の中で3本の柱にもチーム強化の狙いもあるから、高校生にこういう場を与えて西南をアピールすることはいいのではないかと、併せて、その後セットでグラウンドで富岡さんのような指導者に軽く講演をやってもらうことは、いいのではないかと?費用もそこまでかかるとは思わないし、久保さんからの話題にあつた富岡さんであれば、それなりの当てがあると思う。(澤田)
- 指導者にはゲームをみてその場で指導してもらおうと印象に残ると思う。西南はアピール力が不足していると思うが、いい指導者を呼べる大学、OBも社会で活躍していることをアピールできると思う。(久保)

- ・高校生に将来西南でラグビーをしてもらうことはチーム強化につながるようになる。大まかなやることまで決まったが、やり方の工夫等もう少し検討する必要がある。費用も別途検討が必要。それとは別に記念グッズの内容や、作成・販売時期等について検討が必要。(古屋)
- 高校を集めてやるのは時期が限られると思うので、そこを考慮する必要がある。(吉武)
- 高校を集めてやるのは毎年でもやれる。これが定着するとよい。(大曲)
- 御所高校は毎年フェスティバルをやっており、高校生が運営に携わり勉強になっている。(久保)
- ・意見等をいろいろ頂いたが、これまでの内容を整理すると、95周年記念イベントを実施する。イベントの内容は、高校生を対象にゲームを中心としたラグビーフェスティバルを行う。そこに、影響力のあるキーマンを招き、現場指導及び講演を依頼する。そんなイメージでよいか？(古屋)

⇒ 了承

【了承事項のイメージ案】

- ・参加高校の選定は別途となるが、4~5校に絞る。
- ・西南大学(および西南高校?)の現役に運営を係わってもらう。
- ・指導者の選定(案:富岡鉄平氏)および選定した指導者に実施方法等相談(講演方法等含む)
- ・(仮称)95周年記念検討委員会 委員:古屋・久保・澤田・吉武・大曲・川原田・大定 計7名
- ・(当面、仮称)95周年記念検討委員会の開催は、幹事会を実施しない月の隔月を予定
- ・100周年イベント内容等は別途検討(役員会・幹事会)
- ・記念グッズの検討も(仮称)検討委員会にて実施 ※作成内容や販売方法等
 - 課題として、記念グッズ販売を100周年迄毎年継続となると、会員への負担が大。(吉武)

⇒ 了承

(3) 今年度のOB会活動

① OB会員の名簿整備 【古屋副会長兼幹事長】

- ・OB会費等の今後の取り組みでも協議したとおり、渡辺事務局長がOB会員に呼びかけし名簿の整備を続けているが、100周年記念に向けて幹事等も更新に協力する。ついては、現況の名簿を本日出席の役員・幹事等へメール送付してもらい各人は確認等行うものとする。ただし、取り扱いに十分注意を要すること。

⇒ 了承

② 高校指導者等への対応 【古屋副会長兼幹事長】

- ・現役強化およびサステナブルなチーム運営を目指すために、西南ラグビー100周年のアピールする機会ととらえ、高校指導者等訪問を実施する。
ただし、過去の訪問体験をふまえ、入試特典の勘違いを与えることのないよう気を配ること。
- ・高校指導者等へのあいさつは、本日、100周年記念の提案をしてもらった久保OB(91期)を中心に実施することとしたい。彼は、現在の仕事柄(西日本新聞社スポーツ本部)、また、ここ数年のラグビースクール活動(草ヶ江ヤングラガーズ小学生チーフコーチ)において、各方面に人脈があり、知名度が高い存在でもある。
- ・2月のOB総会で役員改選を諮ったばかりであるが、久保OBを「強化委員」に任命し、現場の岡田コーチやOB会役員との共有を図りながら取り組んでもらいたいと考える。ついては、強化委員の任命に関して、本幹事会でその賛否を諮りたい。
- ・久保安秀氏(91期)を「強化委員」としての任命の賛否を実施
 - ⇒ 出席者11名全員の賛成 → 久保安秀氏(91期)の強化委員に任命

2. 現役活動について 【渡辺事務局長】

(1) 新入部員状況

〔確定者〕 部員：4名 女子マネ：2名

- ・川上隆輔（大分舞鶴） SO
- ・川野倫太郎（大分舞鶴） HO
- ・藤川啓太（高田） SH
- ・宿里幸生（鹿児島実業） CTB／FL
- ・寺田ももか MG
- ・中島沙希 MG

(2) 当面のスケジュール（予定）

- ・4/30～5/1 練習ゲーム VS九州大学、鹿児島大学 @田尻GF
- ・5/4 練習ゲーム VS九州共立大学 13：30KO @九州共立大学G
- ・5/14 木元杯九州セブンス @熊本県八代総合運動場